

ごあいさつ



会長

森田 昇



理事長

平岡 浩房

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より青梅信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

本年も、当金庫へのご理解を一層深めていただくために、「2019 Disclosure」を作成いたしました。当金庫の経営方針や業績、地域社会貢献活動への取り組みにつきましてご報告いたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成30年度のがわが国経済は、少子高齢化や人口減少等の課題を抱える中で設備投資などの内需が底堅く推移し緩やかな回復基調が続いておりましたが、米中間の貿易摩擦、中国経済の減速などを背景に海外リスクが膨らみ、先行きの不透明感が増す1年となりました。また、日本銀行のマイナス金利政策の継続により超低金利が常態化しつつあり、金融環境は一段と厳しさを増しています。

このような中、当金庫は新たに中期経営計画「Always Challenging2018-2020」をスタートさせ、地域のお客さまの課題解決や地域活性化に向けて取り組んでまいりました。「地域と未来への架け橋」を基本方針に掲げ、“積極的な融資”や“社会貢献活動”を通じて多くのお客さまのお役に立つことができました。その結果、平成30年度は預金量、融資量ともに前年度対比で大きく増加し、収益におきましても着実に積み上げることができました。これも偏に皆さま方の温かいご支援の賜物であり、役職員一同心より感謝申し上げます。

前年度の中期経営計画の取り組み状況を受け、本年もお客さまとの対話を大切にし、更なる金融サービスの充実を図ってまいります。また、当金庫は令和4年3月に創立100周年を迎えます。創業の精神である“共存同栄”の実現を目指し、地域の活性化に向けて皆さまのご期待に応えられる様、積極的に取り組んでいく所存でございます。

今後とも、倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月



企業理念

わたしたちは、自然と文化に恵まれたこの地域とともにあって、
産業の発展と豊かな暮らしの実現に貢献します。

あおしんの役職員全員は、地域金融の担い手として、事業活動を展開するエリアと共生し、この地域で事業展開する中小企業の成長・発展とここに生活する人々が求める豊かな暮らしの実現を目指し、あおしんがお客さまに対してお役に立つことを宣言します。

経営方針

信頼

あおしんの経営は、何よりもお客さまの信頼を基盤にしており、それは、「この地域のお客さま」「ここに働く役職員」つまり青梅信用金庫を取り巻く人と人との関係を大切にすることであり、その基本となるコミュニケーションを大切にすることです。

中期経営計画

平成30年度は、「Always Challenging 2018-2020」をテーマとした新たな中期経営計画をスタートし、「地域と未来への架け橋」の基本方針のもと、「積極的な融資」や「社会貢献活動」などを通じて地域社会の持続的な発展に努めてまいりました。

今後も地域のお客さまの豊かな暮らしの実現や産業の発展に貢献することを第一に考え、地域の活性化を推進してまいります。

重点課題

1. 取引シェアの拡大
2. 業務体制のスリム化
3. 職員のプロ集団化

計数目標

	3か年目標(令和2年度末)	平成30年度実績
自己資本比率	9.5%以上	9.54%
不良債権比率	4%台(4.99%)	3.60%
当期純利益	22億円	23億円

経営の基本
1

あおしんの
CSR(企業の社会的責任)活動
2~11

平成30年度のトピックス
12

コーポレート・ガバナンス
(企業統治)の状況
13

あおしんが応援する
“美しい多摩川フォーラム”
14~15

会員の意見を反映する総代会
16~17

リスク管理とコンプライアンス
(法令等遵守)の態勢
18~19

平成30年度 業績のご報告
20~25

主な業務のご案内
26~31

店舗ネットワーク
32~33

金庫の概況と組織に関する事項
34

資料編/財務諸表
35~49

資料編/連結情報
50~54

資料編/自己資本の充実の状況
55~67

開示項目一覧
68

沿革
69